

NPO法人越後妻有里山協働機構 事業申請概要（平成22年度）

事業実施地区：十日町市



1. 事業目的

十日町市は、中山間地域ゆえの耕作条件と日本有数の豪雪地帯という気象条件があいまって、若年層の流出、過疎と高齢化によって地域の活力が減退している。

里山に点在する300点の現代アート作品と芸術文化による地域づくりの手法で他地域との差別化を図り、都市からの半定住・定住人口を増やし、地域住民の雇用を図ることで、越後妻有地域を活力ある地域にする。

2. 事業概要

- ① 都心での越後妻有の魅力、通年の事業化を発信する営業活動、セミナーを開催するとともに、あわせて、越後妻有での棚田ツアー、農業・農村文化の体験交流、ワークショップを実施する。
- ② 都心に転出した妻有出身者が地元農産物を応援する仕組みを作り、帰郷に向けたきっかけとして、東京代官山での妻有農産物の販路拡大、飲食店への卸売りなど新規取引先の開拓、イベント販売などに取り組み、雇用創出を目指す。
- ③ 企業・団体向けの農業体験モデルの企画・開発、実施集落との意見交換会の開催。
- ④ インターネット販売による農産物販売を実験的に導入して、サイト及び出荷・販売システムを構築し、雇用の創出を目指す。
- ⑤ 現地検討会や遠隔授業を開催して、大学・研究機関との共同講座を実現させる。

3. 事業実施期間

平成20年度～22年度



プロジェクトチーム（学会）



地域の生業を「講」として体験プログラム化
あんぼづくり（左）と繭で生糸づくり（右）